



~ 5
5692
2



門へ
號5692
卷 2



いみへ

二右古上右古今集皆二右乃内之昔より西とぬく
た池右人右欲た筆等乃其いみへ今も上右

大右も二右も
若く二右も

庵

二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり
二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり

あく池池の
池山

儀

二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり
二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり

命へ恋懐之命に
たも二右も

稻

二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり
二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり

娘あつ乃秋又あつ
縮みの中付白娘

伊勢乃神

二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり
二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり

二右のり也の世乃社
二右のりのま女文

いせ

二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり
二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり

二右のり也の世乃社
二右のりのま女文

いせ

二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり
二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり

二右のり也の世乃社
二右のりのま女文

いせ

二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり
二右のり二右のり二右のり二右のり二右のり

晴保氏

57210

ちひそんあいのいし 二 **生元命** 二 二白まゝいんらんを記せり
まゝも二白まゝ 二 **いんらん** 二 いんらん

ハ **稲妻** 二 一秋に数回に此稲妻は一面地の稲妻を各稲妻に二白ま
二白ま 二 **いざびり** 二 いざびり

ハ **いざびり** 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

ハ **いざびり** 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

ハ **いざびり** 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

ハ **いざびり** 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

ハ **いざびり** 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

出目 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

市 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

いざびり 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

いざびり 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

いざびり 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

いざびり 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

いざびり 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

いざびり 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

いざびり 二 稲妻稲妻を雷の面の字に記す **衣袋**
稲妻稲妻 二 **いざびり** 二 いざびり

一金銭一換... 軍の... 破軍

星... 今... 破軍

岩根末... 石... 月

魚... 魚... 魚

伊物師... 代... 代

最多数... 最多数

一家一門... 一家一門

是... 是

一族... 一族

一... 一

飯... 飯

色... 色

二... 二

二... 二

楼... 楼

籠... 籠

籠... 籠

付て子花のつらみみあせとるるは付てくるかかすかかすの
うら二のまきも多分おまき寺に事あり田人付てもおまき花は多分おまき

露地 長所へを扱ふや付て **六尺** 人傳へるや **六親** 人傳へる

六字名号 尺貫あり **六森日** 一さそちん人代 **櫓** 二舟 **縁** 乃具

静 二さうりまき **論義** 一わろそひ二句を海語

は **極** 二極上 **去雪** 一さめら守 **去雨** 一さめら守 **去風** 二

去雪 二 **去雨** 一さめら守 **去風** 二 **去月** 四

花 四

花乃梯 七のまき **花紅紫** 花の紅紫 **花** 花 **花** 花

花の波 花の波 **花乃雪** 花の雪

花乃目 花の目 **花** 花

花 花 **花** 花

花 花 **花** 花

花 花 **花** 花

花 花 **花** 花

花はゆがま まきうんか 花乃都 白雲之抄のり件

華新之白雲之 花乃都 花乃都 花乃都

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友 花乃友 花乃友 花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

花乃友

橋 一名西一林二橋三津階 一橋 二橋三橋 渡底 居所 初

系 也 初鳥狩 秋あり 初嵐 秋 初風 秋

芭蕉 一多者 初鳥狩 秋あり 初嵐 秋 初風 秋

初塙 秋 原 二白玄林原 蓮 一きん一水 人乃名 一全

端山 二乃 端 五乃 人 二乃 柱 北所

端 二乃 人 二乃 柱 北所 人乃名 二乃

端 二乃 人 二乃 柱 北所 人乃名 二乃

油 三乃 始 二乃 人 二乃 柱 北所

油 三乃 始 二乃 人 二乃 柱 北所

油 三乃 始 二乃 人 二乃 柱 北所

油 三乃 始 二乃 人 二乃 柱 北所

油 三乃 始 二乃 人 二乃 柱 北所

油 三乃 始 二乃 人 二乃 柱 北所

油 三乃 始 二乃 人 二乃 柱 北所

初霜 あき霜 初霜 あき霜 霜 あき霜

常 とこ 常 とこ 常 とこ

鼻 はな 鼻 はな 鼻 はな

伯 はく 伯 はく 伯 はく

暮 くれ 暮 くれ 暮 くれ

張 ちやう 張 ちやう 張 ちやう

化物 かぶつ 化物 かぶつ 化物 かぶつ

齒 は 齒 は 齒 は

房 ぼう 房 ぼう 房 ぼう

判 はん 判 はん 判 はん

羽 は 羽 は 羽 は

畠 はたけ 畠 はたけ 畠 はたけ

旗 はた 旗 はた 旗 はた

走 はし 走 はし 走 はし

將士 しやうし 將士 しやうし 將士 しやうし

肌 はだ 肌 はだ 肌 はだ

柱 はしら 柱 はしら 柱 はしら

下

三

初霜 あき霜 霜 あき霜 霜 あき霜

常 とこ 常 とこ 常 とこ

鼻 はな 鼻 はな 鼻 はな

伯 はく 伯 はく 伯 はく

暮 くれ 暮 くれ 暮 くれ

張 ちやう 張 ちやう 張 ちやう

化物 かぶつ 化物 かぶつ 化物 かぶつ

齒 は 齒 は 齒 は

房 ぼう 房 ぼう 房 ぼう

判 はん 判 はん 判 はん

羽 は 羽 は 羽 は

畠 はたけ 畠 はたけ 畠 はたけ

旗 はた 旗 はた 旗 はた

走 はし 走 はし 走 はし

將士 しやうし 將士 しやうし 將士 しやうし

肌 はだ 肌 はだ 肌 はだ

柱 はしら 柱 はしら 柱 はしら

柱ノ 一ノ **いんご** 一ノ **初** 二ノ **棒** 三ノ

内三 二ノ **春雨** 三ノ **母** 四ノ **原** 五ノ **汁** 六ノ

松板の入り 七ノ **さの** 八ノ **佛** 九ノ **離** 十ノ **葉**

守乃神 十一ノ **佛** 十二ノ **乃** 十三ノ **定** 十四ノ **羽** 十五ノ **の** 十六ノ **字**

に 十七ノ **庭** 十八ノ **庭** 十九ノ **庭** 二十ノ **庭** 二十一ノ

心 二十二ノ **庭** 二十三ノ **庭** 二十四ノ **庭** 二十五ノ **庭** 二十六ノ

庭 二十七ノ **庭** 二十八ノ **庭** 二十九ノ **庭** 三十ノ **庭** 三十一ノ

庭 三十二ノ **庭** 三十三ノ **庭** 三十四ノ **庭** 三十五ノ **庭** 三十六ノ

庭 三十七ノ **庭** 三十八ノ **庭** 三十九ノ **庭** 四十ノ **庭** 四十一ノ

庭 四十二ノ **庭** 四十三ノ **庭** 四十四ノ **庭** 四十五ノ **庭** 四十六ノ

庭 四十七ノ **庭** 四十八ノ **庭** 四十九ノ **庭** 五十ノ **庭** 五十一ノ

庭 五十二ノ **庭** 五十三ノ **庭** 五十四ノ **庭** 五十五ノ **庭** 五十六ノ

庭 五十七ノ **庭** 五十八ノ **庭** 五十九ノ **庭** 六十ノ **庭** 六十一ノ

庭 六十二ノ **庭** 六十三ノ **庭** 六十四ノ **庭** 六十五ノ **庭** 六十六ノ

庭 六十七ノ **庭** 六十八ノ **庭** 六十九ノ **庭** 七十ノ **庭** 七十一ノ

庭 七十二ノ **庭** 七十三ノ **庭** 七十四ノ **庭** 七十五ノ **庭** 七十六ノ

よとありのよ まふくんとあつまず よありのよ よまお合の

新ニ枕 ニぬさひひ ニゆさわり ニぬハ ニゆさび ニぬ

く ニ幾之西 ニ白 ニ白 ニ白 ニ白 ニ白 ニ白

人ニ間 ニ人 ニ間 ニ人 ニ間 ニ人 ニ間 ニ人

入ニ道 ニ入 ニ道 ニ入 ニ道 ニ入 ニ道 ニ入

煮ニる ニ煮 ニる ニ煮 ニる ニ煮 ニる ニ煮

新ニ無ニ似ニ瓦 ニ瓦 ニ瓦 ニ瓦 ニ瓦

は

牡丹

牡丹 一失念ふ之の病ひぬ

葦菜

葦菜 一失念ふ之の病ひぬ

郭

郭 一失念ふ之の病ひぬ

雲

雲 一失念ふ之の病ひぬ

お

お 一失念ふ之の病ひぬ

星

星 一失念ふ之の病ひぬ

星

星 一失念ふ之の病ひぬ

月

月 一失念ふ之の病ひぬ

外

外 一失念ふ之の病ひぬ

星

星 一失念ふ之の病ひぬ

外

外 一失念ふ之の病ひぬ

お

お 一失念ふ之の病ひぬ

外

外 一失念ふ之の病ひぬ

お

お 一失念ふ之の病ひぬ

洞

洞 一失念ふ之の病ひぬ

外

外 一失念ふ之の病ひぬ

かりお **星** 七夕甲の星具り今 **布袋** 一級友の八備あり

法眼 尺書之まゝ **法論** 尺書之 **珠** 一あり **り**

煨 一夜 **不ゆ** 一生 **不て** 一生 **于** 二ひ

帽子 多あり **襦** 二ひ **儂** 二ひ **本** 二ひ

襦 二ひ **乃字** 二ひ **儂** 二ひ **徳** 二ひ **法** 二ひ

拂子 二ひ **り** 二ひ **徳** 二ひ **陪** 二ひ **堂** 二ひ

膏 二ひ **雲** 二ひ **記** 二ひ **陪** 二ひ **堂** 二ひ

頰 二ひ **本** 二ひ **盆** 二ひ **凡** 二ひ **文** 二ひ

雲 二ひ **跡** 二ひ **行** 二ひ **旅** 二ひ **及** 二ひ **吉** 二ひ

注 二ひ **皇** 二ひ **行** 二ひ **旅** 二ひ **及** 二ひ **吉** 二ひ

重 二ひ **字** 二ひ **行** 二ひ **旅** 二ひ **及** 二ひ **吉** 二ひ

平 二ひ **家** 二ひ **搦** 二ひ **手** 二ひ **搦** 二ひ **手** 二ひ

部 二ひ **屋** 二ひ **仗** 二ひ **櫛** 二ひ **女** 二ひ **慶** 二ひ **乃** 二ひ **字** 二ひ

乃 二ひ **字** 二ひ **乃** 二ひ **字** 二ひ **乃** 二ひ **字** 二ひ

一ねま
へん いんまふ二ねま
なつま なつまふ
識 し

返半 返半
脈 脈

奔又天 天

と 虎 虎 床 床 玉床下 玉床下

床とゆふ 床とゆふ 病人の床つらぬ 痛 痛 床 床

後床 後床 網代床 網代床 床 床

乃心床の浦 乃心床の浦 火 火 灯 灯

ふん 乃心床の浦 乃心床の浦 火 火 灯 灯

名 名

名 名

名 名

名 名

名 名

名 名

非の意に非なり トヤカ 多座 カ 年暮 トヨ 豊明乃節 アカリノセチエ

非の意に非なり トヤカ 年暮 トヨ 豊明乃節 アカリノセチエ

字 ニハ 年 トセ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

とせ五 トセ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

とせ五 トセ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

泊 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

年暮 トヨ 年暮 トヨ 年暮 トヨ

二百 同志 人係はあつて

宿直 一夜を

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

多のみのあつて

外務 一宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

飛はたはるる所

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

と宿直 二宿直

千早振 千早を

千早振 千早を

千早振 千早を

千早振 千早を

千早振 千早を

千早振 千早を

千早振 千早を

千鳥 千鳥

千鳥 千鳥

千鳥 千鳥

千鳥 千鳥

千鳥 千鳥

千鳥 千鳥

千鳥 千鳥



塵 ちり

千如字

千如字

千鳥

千

千早振

千早振

千早振

千里

千

種

種

種

種

種

淡路

淡路

淡路

淡路

巷

道

道

道

茶

茶

茶

茶

此字

四新堂ハ秘シキ
茅トシテ

契又ル

白作ヒテ

兎

見ニテ

知音

白作ヒテ

茶

茶

あり人ハ 新茶

長者

地藏

ちきり

ちきり

二

血

血

賃

千

千話

畜生

莖

地獄

乳

幕

丁子

亭

池

越

ちきり

地震

つちと

秘使

子

子

遠

地

中風

長

老

老

老

リ

龍神

龍神

龍神

龍神

龍神

利

利

利

利

倫

倫

利根

律

律

秋

秋

秋

秋

秋

小野 三内 あま をら をら

をら をら をら をら をら

音 音 音 音 音

音 音 音 音 音

小田 小田 小田 小田 小田

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

小野 三内 あま をら をら

をら をら をら をら をら

音 音 音 音 音

音 音 音 音 音

小田 小田 小田 小田 小田

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

親 親 親 親 親

廿九

廿九

四巻くわやくの カキ 後 三皇 多葉 本葉 分式字 三台

あなな 後家 梳 二五 ころき 二台 脱指 二台

本刀短 人傳 結指 二台 鷲 二台 移徒 二台

おと 二台 藪 二台 話 二台

和歌 二台 王 二台 紙子 二台

二台 二台 二台 二台 二台 二台 二台 二台

加 武 二台 杜 二台 紙子 二台

秋 二台 唱食 二台 隱家 二台 葛城 二台 厩 二台 垣 二台 井 二台

世 二台 隠 二台 葛城 二台 厩 二台 垣 二台 井 二台

井 二台 井 二台 井 二台 井 二台 井 二台

井 二台 井 二台 井 二台 井 二台 井 二台

井 二台 井 二台 井 二台 井 二台 井 二台

井 二台 井 二台 井 二台 井 二台 井 二台

井 二台 井 二台 井 二台 井 二台 井 二台

井 二台 井 二台 井 二台 井 二台 井 二台

井 二台 井 二台 井 二台 井 二台 井 二台

井 二台 井 二台 井 二台 井 二台 井 二台

井 二台 井 二台 井 二台 井 二台 井 二台

雨 付て 備 三音くといひても三此内之富 卵 一音乃子 かつて

ま乃橋 拵あり 髪と髪 眉の雷甘ても 風 一切凡

三音ま之松の如く拵れおみ竹拵れ かこ一三音 かん庄 かこ一三音

也 三音 かつて人母 三音 方 片竹白拵体分拵二音

本八斤枝之かつて人母 三音 行教 拵あり づぬ

字 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音

三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音

田院 八音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音

流 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音

十文字 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音

此綿 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音

三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音

人備 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音

あ 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音 三音

Handwritten marginal notes on the right side of the page.

Handwritten marginal notes on the left side of the page.

くひ付て しあふまゝ 人 人強之西様 くらひたてくらひくら

年 年此字にふれぬ字よりなる之三年字 くらひ くらひ くらひ

老 老い くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

植 植 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

花 花 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

夜 夜 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

月 月 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

吉 吉 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

野 野 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

奥 奥 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

吉 吉 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

野 野 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

吉 吉 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

野 野 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

吉 吉 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

野 野 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

吉 吉 くらひ 一あり くらひ 一あり くらひ 一あり

なすのりさむらゝあるよまてハ
珠玉又ニ百まて玉とり人傳
田乃唐 居所ニ三ち之坊と人傳
二方門田八居所ニ三ち之

田よんご 徳山子ひの坊一とらう
序近あてれ河入秋花也 田よ 序一争とあり
田よ 然し能柳也

らうあせ苗代そらう
早苗箱置ニ百まて
田よまよ川物 不器田也 田よ 田田の
二かう坊之

報 田苗の取 田よとてく田か 田よまよの心
龍田よ 五ち之

於時 五ち之 竹 五ち之 又ニ百まてまの心
竹 五ち之 竹 五ち之 竹 五ち之 竹 五ち之

二るま 竹乃食 井根えおの能柳也
竹乃林 竹林根舎天蓋
一所之七賢ら伝

一竹抄る竹の 竹垣うへ竹田里 竹一等竹竹貴
五白りりりり

子竹乃あし戸未れうわさる
竹乃抄る竹の 竹垣うへ竹田里 竹一等竹竹貴

又字長其字お紙 ぬそらう杖よ 衆の字 注うまよ
又之 又之

付て 五ち之 五ち之 五ち之 五ち之
たさる 一とく一たさる

乃めてもおの義だそもわらわつた
まどうの 五ち之 五ち之 五ち之 五ち之

玉章 五ち之 五ち之 五ち之 五ち之
五ち之 五ち之 五ち之 五ち之

本よ 二五ち之 五ち之 五ち之 五ち之
五ち之 五ち之 五ち之 五ち之

芦出とてふ火 龍田娘 秋之能神武 鷹
五ち之 五ち之 五ち之 五ち之

とくもはうれなるもふもはたはくはくとのりくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

民の肉と 此語 然一此語 然あること 然るは水 辺 然るも

七夕 七夕 七夕 七夕 七夕 七夕 七夕 七夕 七夕 七夕 七夕

高野山 此山 高野山 高野山 高野山 高野山 高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

高根 此山 高根 高根 高根 高根 高根 高根 高根 高根 高根

高砂 此山 高砂 高砂 高砂 高砂 高砂 高砂 高砂 高砂 高砂

彼 此山 彼 彼 彼 彼 彼 彼 彼 彼 彼 彼

終の字 終の字 終の字 終の字 終の字 終の字 終の字 終の字 終の字 終の字 終の字

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

木 木 木 木 木 木 木 木 木 木 木

只乃字 只乃字 只乃字 只乃字 只乃字 只乃字 只乃字 只乃字 只乃字 只乃字 只乃字

狸 狸 狸 狸 狸 狸 狸 狸 狸 狸 狸

為 為 為 為 為 為 為 為 為 為 為

燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧

談 談 談 談 談 談 談 談 談 談 談

度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度

被 被 被 被 被 被 被 被 被 被 被

尋 尋 尋 尋 尋 尋 尋 尋 尋 尋 尋

下 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下

こめく 所 カキ 寝 カキ 寝 カキ 寝 カキ 寝
 大 カキ 大 カキ 大 カキ 大 カキ 大
 担木 カキ 担木 カキ 担木 カキ 担木 カキ 担木
 道心 カキ 道心 カキ 道心 カキ 道心 カキ 道心
 堂 カキ 堂 カキ 堂 カキ 堂 カキ 堂
 相 カキ 相 カキ 相 カキ 相 カキ 相
 代 カキ 代 カキ 代 カキ 代 カキ 代
 高 カキ 高 カキ 高 カキ 高 カキ 高
 炬 カキ 炬 カキ 炬 カキ 炬 カキ 炬

二白 民 カキ 民 カキ 民 カキ 民 カキ 民
 且 カキ 且 カキ 且 カキ 且 カキ 且
 田子 カキ 田子 カキ 田子 カキ 田子 カキ 田子
 其 カキ 其 カキ 其 カキ 其 カキ 其
 所 カキ 所 カキ 所 カキ 所 カキ 所
 凡 カキ 凡 カキ 凡 カキ 凡 カキ 凡
 痛 カキ 痛 カキ 痛 カキ 痛 カキ 痛
 料 カキ 料 カキ 料 カキ 料 カキ 料
 紙 カキ 紙 カキ 紙 カキ 紙 カキ 紙
 歌 カキ 歌 カキ 歌 カキ 歌 カキ 歌
 下 カキ 下 カキ 下 カキ 下 カキ 下

おのり **おのり** 一人一人 **領家** 一氏一氏 **買** 二

と只 **肉** 味之也 **中** 多し

之 七中七白之久方字也 天付字二白之今此字也

外面 二飛所之外ハ三白也 **堂** 三多人も三の内

袖 二白を海地同 **袖乃** 袖ノ **衣** 衣ノ **袖** 袖ノ

袖 二白を海地同 **袖乃** 袖ノ **衣** 衣ノ **袖** 袖ノ

袖 二白を海地同 **袖乃** 袖ノ **衣** 衣ノ **袖** 袖ノ

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

僧 一人一人 **僧** 一人一人 **僧** 一人一人

まきくこ
たどるあり 月れで ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり 心乃

月 難く ぼんぼり 月草 ぼんぼり 月草 月草

や ぼんぼり 月乃 月乃 月乃 月乃

あ ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり

葛 二秋 ぼんぼり 霜 霜 霜 霜

雨 雨 雨 雨 雨 雨

八月 常れ字 五 徳 徳 徳 徳

留 二上 白 下 白 二 併 友 二 好 常 此 燈 ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり

ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり

ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり

ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり

ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり

ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり

ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり

ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり ぼんぼり

西二暮よめとほた 二暮よめとほた 二暮よめとほた 二暮よめとほた 乃里塚も乃内 乃里塚も乃内 乃里塚も乃内 乃里塚も乃内

つむ 一乗を 流り也 也 出産 一産げと産後

あり 一産を 流り也 也 頭巾 一産を 釣

流 一産を 流り也 也 流 一産を 流り也 也

内義奥極面とさ 内義奥極面とさ 津の字 三み てふふ

文字 二白を 津の字 三み 田の西も川つる

伝りの字 四ん 告の字 四 後 二白を の字 四ん

ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る

ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る

ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る

ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る

ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る

ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る

ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る

ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る ぬ 二転る

雨あめ あめ あめ あめ 菜な な な な 洞ほら乃の洞ほら雨あめ あめ あめ 満みち みち みち みち

洞ほら川がわ ほら がわ ほら 洞ほら袖そで乃の月つき ほら そで つき ほら 洞ほら

生なまぬぬ なま ぬ なま ぬ なま ぬ なま ぬ なま ぬ なま ぬ なま ぬ なま ぬ

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり とり

鳥

鳥

下

下

屬 中ごとく 藤 年 繩 長

此字 乃字 字 長 攪

也 多 攪 攪 攪 攪 攪

察 勿 芥 芥 芥

二 多 少 人 給 互 忠 納 豆

長 子 奴 奴 奴

南 蠶 蠶 蠶 蠶

南 天 蠶 蠶

互 乃 乃 乃 乃

ら 乃 乃 乃 乃

字 乃 乃 乃 乃

小 蘭 孔 乃 字 乃 字

老 翁 翁 翁 翁

老 翁 翁 翁 翁

老 翁 翁 翁 翁

老 翁 翁 翁 翁

老 翁 翁 翁 翁

老 翁 翁 翁 翁

きよ きよ 村子里 不丁付松の二村あり 夢想 夢見

武藏 一むら 麦 一夜に凍る人々の じと

家 一むら 棟乃木 秋 じと 二

富 一むら 浦と海 二 渾 四 占 二内 ぬ 長 生 二

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

う 一むら ぬ 長 乃字 ち中 生

矢へる我よ うそよ いつころ鹿 言わぬ娘 歌 二色奇小奇れと娘

面と娘 ウラカタ 白土 うらやさん石れ 藤乃字 ウタキ 立うとせぬ

一後我弟集 うゝひみ結 二色奇之歌 うゝふ 二声付

うゝふ ウラカタ うゝふ ウラカタ 凡 一凡の 写 ヤウレロ 結 ウタキ 子 ウタキ 筆

若 ウタキ 抱 上れ字二白 鶴 ウタキ 結 ウタキ 真 ウタキ 立 ウタキ うゝふ 鳥人

れ ウタキ うゝふ 鳥人 姥 鳥人 婿 鳥人 全 鳥人 漆 鳥人 うゝふ 鳥人

うゝふ 鳥人 満 鳥人 うゝふ 鳥人 うゝふ 鳥人

植乃字 二人たのみ 浦 鳥人 後 鳥人 の字 鳥人

うゝふ 鳥人 うゝふ 鳥人 うゝふ 鳥人

猪 鳥人 居 鳥人 乃字 鳥人

井 鳥人 村 鳥人 場 鳥人 守 鳥人 官 鳥人

院 鳥人 務 鳥人 田 鳥人 炉 鳥人 裡 鳥人

野 鳥人 乃 鳥人 び 鳥人 野 鳥人 乃 鳥人 野 鳥人

の 鳥人 野 鳥人 乃 鳥人 び 鳥人 野 鳥人 乃 鳥人 野 鳥人

野 鳥人 乃 鳥人 び 鳥人 野 鳥人 乃 鳥人 野 鳥人

野 鳥人 乃 鳥人 び 鳥人 野 鳥人 乃 鳥人 野 鳥人

野 鳥人 乃 鳥人 び 鳥人 野 鳥人 乃 鳥人 野 鳥人

母 野乃苑 三花 乃ほり 深 涼暑 秋

秋 菊 秋 緒弓 三 野乃宮 別 秋 御後

若 并 野乃 土 野乃 三 付 植 野乃原 原

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

野乃 三 野乃 三 野乃 三 野乃 三

三ノコトニ 男心 非後よあしむる意あり 恐天 一たまりのわおとや

熊 一熊乃皮くまをてをい一熊理終坂 車 一は車上水車二番車

香車 小車花車海老 系花 花の若き花後所之花 昆多 昆多

雲井夜 後舟池之雲 雲井 大内乃まの之 雲 字云云

系川 人係系 系川 二系川一系川 系川 系川八面と名

草花 草花 草花 草花 草花 草花

草菴 草菴 草花 草花 草花 草花

草花 草花 草花 草花 草花 草花

草花 草花 草花 草花 草花 草花

草花 草花 草花 草花 草花 草花

草花 草花 草花 草花 草花 草花

草花 草花 草花 草花 草花 草花

草花 草花 草花 草花 草花 草花

草花 草花 草花 草花 草花 草花

下

下

多れ行乃所 あはれ 振 ふる 杖 つゝ 杖 つゝ

暮 三白き夕の字のむらさきの暮 杖 杖 閣 閣

蜘蛛 蜘蛛の字のむらさきの面 杖 杖 雲 雲 灌佛 灌佛

下 下 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

く く 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

釘 釘 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

串 串 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

木 木 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

観 観 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

公 公 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

斗 斗 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

差 差 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

雲 雲 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖 杖

やく茶 辰如茶 人 けしき せき くらく ちん 依

位 一乃所一乃物乃 黒 四大乃七乃ま 蛇 難之穴出ハまろク

とぬ 闘 一乃くハ白一乃より 糸 外 又 糸乃字小ハ くら

びる 乃 口面を垢戸 くらめ 一乃まひらまらハて 乃 乃

平 乃 糸 頃 二 くらび まら 乃 栗 一 粒 くらり 孔 雀 付

若く くらげ 一乃色くせまらくら 臭 足 一 佛 乃 三 全 足 一

物 を くら けて 今乃和まきしや くらき 一乃は 熊 野 又 乃 習 木 文

形官付て 汲乃字 くらへてニ 斗くら

【や】 欵冬 一乃れれ 山 乃 夜 一 乃 也 七乃 くらき 弥 生 山 乃

宿 二乃とらニ一ゆクニ三乃宿辰宿の辰まろクニ元也 乃

字 土 既 七乃 土 宿 也 乃 第一 一 乃 也 乃 柳 一 乃 乃 乃 乃 乃

柳 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

柳 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

人傳之尺蓋之數分とらるる依三休やよ二やよ雨ぬ

大は徳之彼家秘致あり足一山橋タキハナ教ヤブ

やうと云詞ニをりりり山橋タキハナ教ヤブ

松と雲カク松風ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

の縁ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり松乃色ニをりりり

惟教か来れ 枕考^一 志^二 藤^三 あまをう物難之川は多之編 肩^四

必所之枕考 枕考^一 志^二 藤^三 たつ藤ハ惟教の志也 肩^四

れ霜^一 庄懐之也 肩^二 三眉間尺 中^三 の^四 ね^五 む教考 後^六 こ

と^一 ぬ^二 申せり 中^三 の^四 ね^五 三眉間尺 後^六 こ

尾条^一 四月上 前^二 の^三 中^四 の^五 ね^六 三眉間尺 後^七 こ

一^一 後^二 どの^三 中^四 の^五 ね^六 三眉間尺 後^七 こ

い^一 と^二 中^三 の^四 ね^五 三眉間尺 後^六 こ

法^一 又^二 前^三 の^四 後^五 中^六 の^七 魔^八 天 物^九 中^十 の^{十一} 子^{十二}

二^一 中^二 の^三 後^四 中^五 の^六 魔^七 天 物^八 中^九 の^十 子^{十一}

一^一 中^二 の^三 後^四 中^五 の^六 魔^七 天 物^八 中^九 の^十 子^{十一}

松^一 の^二 後^三 中^四 の^五 魔^六 天 物^七 中^八 の^九 子^十

中^一 の^二 後^三 中^四 の^五 魔^六 天 物^七 中^八 の^九 子^十

町^一 一居所 の^二 後^三 中^四 の^五 魔^六 天 物^七 中^八 の^九 子^十

舎^一 二名 の^二 後^三 中^四 の^五 魔^六 天 物^七 中^八 の^九 子^十

あまをう物難之川は多之編

たつ藤ハ惟教の志也

三眉間尺

三眉間尺

三眉間尺

三眉間尺

三眉間尺

天

天

天

天

天

天

天

孫一子孫 面と 鞠一蹴鞠 松風一松風 石室一石室

卷四々々々も四内之卷 卷二 柳一柳

豆一は足乃まめ 氣一氣 任一任 務一務

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

け一け 乃一乃 字一 先一 乃一 字一 任一 乃一 字一 務一

ふ 一衣類尺貫 加長ば 二二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ふ 二寸半 敷ト 二寸半 敷ト

ぬい

雲七白を風神三白を云と云
字八面と指吹乃字三白を云あり

吹乃字

ぬい乃ぬい乃に

二白去吹吹
二白去吹吹

富士

山形より川

ぬい野

く人地よ

私

五白を川毎振ぬあしははの川
ふんははの川

ぬい海

海

海

友

友

所在亦

ぬい冬月

冬月

林鹿

二名所一白七

ぬい

中

ぬい吹れ字

吹れ字

冬と冬

令家

冬と冬

ぬい

ぬい

古

令家

ぬい

ぬい

ぬい

更乃字

二條文一長分

文

ぬい

ぬい

笛

尺八面とぬい

二道

ぬい

ぬい

ぬい

二心

行

人

ぬい

令

振

歩

食

意

歩

令

剛

剛

兼

糞

糞

袋

膏

補

陀

言

ぬい

膏

補

陀

樂

尺 枝 樹 ^一 葉 ^二 三 ^三 白 ^四 去 ^五 永 ^六 長 ^七 人 ^八 傷 ^九 不

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

古 枝 ^一 木 ^二 所 ^三 本 ^四 枝 ^五 木 ^六 二 ^七 白 ^八 去 ^九 木 ^十 枝 ^{十一} 木 ^{十二} 枝 ^{十三} 木 ^{十四} 枝 ^{十五} 木 ^{十六} 枝 ^{十七} 木 ^{十八} 枝 ^{十九} 木 ^{二十} 枝

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

普 請 ^一 家 ^二 立 ^三 造 ^四 位 ^五 又 ^六 多 ^七 一 ^八 川 ^九 普 ^十 請

五

五

氷乃氷乃 氷乃乃 氷乃乃 氷乃乃 氷乃乃

細細 細乃 細乃 細乃 細乃 細乃

三三 三乃 三乃 三乃 三乃 三乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

衣衣 衣乃 衣乃 衣乃 衣乃 衣乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

結竹て由コ東風也ろかこ
ろかか手
ろか
一本下園
小鳥渡
甲斐
志
胡

蝶又小乃字
子のら
慕
呉服
火燧
今年
扈後
兒
扈
物
摘乃

あめ 三季をうけて... 天乃字に二を去る... 天乃字に二を去る... 天乃字に二を去る... 天乃字に二を去る...

あめ 三季をうけて... 天乃字に二を去る... 天乃字に二を去る... 天乃字に二を去る... 天乃字に二を去る...

殊乃像一秋の暑日西ニもくく一のりい

秋乃秋の暑日西ニもくく一のりい同同又いひつゝまあつひ

とくあつひ海士人偏和香和將と白鳥白鳥

花會正月秋乃七月汗汗汗汗汗汗

又又又又又又又又又又又又

細細高高浅浅兄兄現人現人おんおん

姉姉蛇蛇あやあやあやあやあやあや

あしあし阿弥阿弥陀陀秋文秋文

あやあやあやあやあやあやあやあや

あらあらあらあらあらあらあらあら

あらあらあらあらあらあらあらあら

あらあらあらあらあらあらあらあら

あらあらあらあらあらあらあらあら

あらあらあらあらあらあらあらあら

あらあらあらあらあらあらあらあら

あらあらあらあらあらあらあらあら

あらあらあらあらあらあらあらあら

く人勉サ 二名所中二以以又二万たし
好色 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

浪や大津乃文 秋乃 秋乃 秋乃
さく 二名所中二以以又二万たし
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

酒 一志也二名所中二以以又二万たし
酒 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

酒 一志也二名所中二以以又二万たし
酒 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

酒 一志也二名所中二以以又二万たし
酒 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

酒 一志也二名所中二以以又二万たし
酒 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

酒 一志也二名所中二以以又二万たし
酒 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

棹竿 二名所中二以以又二万たし
棹竿 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

さく 二名所中二以以又二万たし
さく 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

探 二名所中二以以又二万たし
探 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

疾 二名所中二以以又二万たし
疾 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

報 二名所中二以以又二万たし
報 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

想 二名所中二以以又二万たし
想 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

人 二名所中二以以又二万たし
人 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

偏 二名所中二以以又二万たし
偏 此乃字因分昭以取也
さく 五山の内くろ乃
字付白くぬく

手乃ぬく 報乃字思在一二二三三三味考交二乃

と酒乃 二乃侍一乃人 二乃坂一乃字 二乃乃字

様 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

字乃字 四乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

き 蚕 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

二乃不乃 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

名所 一乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

きぬく 一乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

木とこ 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

木とこ 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

木とこ 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

木とこ 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

木とこ 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字 二乃乃字

くひ 幾人同科 二尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ

目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ

目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ

目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ

目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ

目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ

目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ 目ら 一尺よ

み 二此 飛形 毎よ おもん 義虫 二尺所

死の季に三ヶ月 出此 都 一尺所 一尺所 一尺所 一尺所

都 四月 都 四月 都 四月 都 四月 都 四月

都 四月 都 四月 都 四月 都 四月 都 四月

都 四月 都 四月 都 四月 都 四月 都 四月

都 四月 都 四月 都 四月 都 四月 都 四月

都 四月 都 四月 都 四月 都 四月 都 四月

都 四月 都 四月 都 四月 都 四月 都 四月

都 四月 都 四月 都 四月 都 四月 都 四月

都 四月 都 四月 都 四月 都 四月 都 四月

一、文尾との美ハ神祇也之天皇品とくわて
臣神祇とく同カ神祇と皇品とく同カ面カ

五付ケ
三字候ふ
七カキカク
御
カんでめし
ふ告

五カキカ
三吉野
三熊野伴の
みそれ
高に七カ雨
字ニカウリ

南糸
糸
入
暑涼付て
水とみ

三カキカ
御校
若み
見
二カキカ
月

みるゆ
水
秋
海雲
乃と

く
三カキカ
御の字
漆
江
と

ぐ
弊之御の字
みり
御の字門カ字
みこのり

御
御の字
御乃字付て
み

三寺
御の字
御幸に
み

み
み
水
み

道
み
み
乃字付
乃と

此書
見
乃字付
乃と

此書
見
乃字付
乃と

此書
見
乃字付
乃と

七月廿七日... 田之町や佐のい... 此家 遠く

三冬... 都... 水... 水... 水...

三冬... 都... 水... 水... 水...

三冬... 都... 水... 水... 水...

三冬... 都... 水... 水... 水...

三冬... 都... 水... 水... 水...

三冬... 都... 水... 水... 水...

此の... 壬... 此乃字四年... 眉月...

此の... 壬... 此乃字四年... 眉月...

此の... 壬... 此乃字四年... 眉月...

此の... 壬... 此乃字四年... 眉月...

此の... 壬... 此乃字四年... 眉月...

此の... 壬... 此乃字四年... 眉月...

此の... 壬... 此乃字四年... 眉月...

麻の角 麻毛の筆麻枝下麻葉實の麻ひと 葉端麻

秋 下のりえ 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

麻の角 麻毛の筆麻枝下麻葉實の麻ひと 葉端麻

秋 下のりえ 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

下 下葉 下葉下葉と下

交まふら付白紙水面と指し 葉 三葉の戸 葉は庵指指指

杖上 志 志とは二〇七センチ 杖は二尺五寸五

後 新乃 下 新乃 下 志 二〇七センチ

白 白 志 二〇七センチ

推 推 杖之推 志 二〇七センチ

櫓乃 櫓乃 志 二〇七センチ

省葉 省葉 尺 志 二〇七センチ

志 志 二〇七センチ

白 白 志 二〇七センチ

尺 尺 志 二〇七センチ

志 志 二〇七センチ

尺 尺 志 二〇七センチ

師 師 志 二〇七センチ

葉 葉 志 二〇七センチ

志 志 二〇七センチ

下 下 志 二〇七センチ

志 志 二〇七センチ

志 志 二〇七センチ

常

精

下

志

下

志

常

精

下

志

下

志

常

精

下

志

下

志

常

精

下

志

下

志

せ^二多^一志^二と^一ぬ^二恥^一志^二げ^一さ^三可^二付^一但^二依^一乃^二祈^一

得^二志^一汁^二一^一胆^一初^二一^一電^一順^二終^一智^二乃^一紗^二衣^一

育^二る^一者^二お^一基^二に^一死^二乃^一字^二四^一

志^二ん^一浄^二衣^一金^二一^一乃^一志^二者^一か^二ご^一

あり^水白^二河^一笑^二ふ^一芝^二十^一德^二衣^一束^二糸^一

満^二志^一主^二君^一志^二れ^一バ^二代^一月^二士^一

師^二道^一燭^二臺^一霜^二四^一志^二秋^一

眉^二月^一乃^二志^一狸^二く^一一^一鉄^二乃^一志^二束^一

屍^二け^一乃^二志^一下^二部^一

白^二乃^一志^二出^一家

お^二ら^一城^二志^一障^二子^一

舅^二志^一乃^二志^一志^二乃^一志^二志^一

笑^二乃^一志^二乃^一志^二乃^一志^二乃^一志

志^二乃^一志^二乃^一志

志

五

絵母エモのカ多末タマ

此松抄よそれ

右衛門ウエモ尉ウヱ

筆士ヒツシ

火

火ヒのカ惠法エヒフ西ス

此松抄よそれ

接乃木キ

繪エのヒ

衣

衣エのカ紋モン付ツくクろロふフ

此松抄よそれ

あびアビ

あびアビ

園

園エンのカ人ヒト備ヒ多タ

此松抄よそれ

碎ク

碎ク

水

水スイのカ室シム

此松抄よそれ

周シユ

周シユ

松

松シユのカ人ヒト備ヒ

此松抄よそれ

周シユ

周シユ

乃

乃ノのカ人ヒト備ヒ

此松抄よそれ

周シユ

周シユ

火

火ヒのカ流リウ火カのカ流リウ

此松抄よそれ

火ヒ

火ヒ

火

火ヒのカ流リウ火カのカ流リウ

此松抄よそれ

火ヒ

火ヒ

火

火ヒのカ流リウ火カのカ流リウ

此松抄よそれ

火ヒ

火ヒ

字

字ジのカ同ドウにニ盆ヒン付ツてテ

此松抄よそれ

同ドウ

同ドウ

月

月ツキのカ同ドウにニ盆ヒン付ツてテ

此松抄よそれ

同ドウ

同ドウ

月

月ツキのカ同ドウにニ盆ヒン付ツてテ

此松抄よそれ

同ドウ

同ドウ

月

月ツキのカ同ドウにニ盆ヒン付ツてテ

此松抄よそれ

同ドウ

同ドウ

朝

朝アサのカ同ドウにニ盆ヒン付ツてテ

此松抄よそれ

朝アサ

朝アサ

朝

朝アサのカ同ドウにニ盆ヒン付ツてテ

此松抄よそれ

朝アサ

朝アサ

時^{ヒト}冷酒^{ヒト}

秋之冷

膝^{ヒト}

草木に

廣^{ヒト}

面

月

日^{ヒト}

早

人^{ヒト}

正月七日

波^{ヒト}

人

貧^{ヒト}

心

ひそく

秘藏^{ヒト}

くら

ひ

終^{ヒト}

日

付^{ヒト}

昼^{ヒト}

中

表^{ヒト}

具^{ヒト}

ひ

力

額^{ヒト}

尻^{ヒト}

夜^{ヒト}

三

病^{ヒト}

人

わ

老^{ヒト}

肺^{ヒト}

人

病^{ヒト}

人

わ

百^{ヒト}

性^{ヒト}

人

百^{ヒト}

性^{ヒト}

公

櫛^{ヒト}

格^{ヒト}

中

早^{ヒト}

尾^{ヒト}

尾^{ヒト}

尾

屏^{ヒト}

風^{ヒト}

早

早^{ヒト}

菱^{ヒト}

菱^{ヒト}

菱

直^{ヒト}

密^{ヒト}

人

尾^{ヒト}

尾^{ヒト}

尾

獄^{ヒト}

領^{ヒト}

領

領^{ヒト}

領^{ヒト}

領

丙^{ヒト}

丁^{ヒト}

日

日^{ヒト}

日^{ヒト}

日

行^{ヒト}

不^{ヒト}

い

い

い

い

葉^{ヒト}

葉^{ヒト}

葉

葉^{ヒト}

葉^{ヒト}

葉

物

物とまゝ 三好下の白 もあ 久して後 お葉 一

紅葉橋 四の内 赤く 白黄

秋紅葉 水名 物と深 水名 赤 水名

物 二 物 三 物 四 物 五 物 六 物 七 物 八 物 九 物 十

物 十一 物 十二 物 十三 物 十四 物 十五 物 十六 物 十七 物 十八

物 十九 物 二十 物 二十一 物 二十二 物 二十三 物 二十四 物 二十五 物 二十六

物 二十七 物 二十八 物 二十九 物 三十 物 三十一 物 三十二 物 三十三 物 三十四

物

物 三十一 物 三十二 物 三十三 物 三十四 物 三十五 物 三十六 物 三十七 物 三十八

物 三十九 物 四十 物 四十一 物 四十二 物 四十三 物 四十四 物 四十五 物 四十六

物 四十七 物 四十八 物 四十九 物 五十 物 五十一 物 五十二 物 五十三 物 五十四

物 五十五 物 五十六 物 五十七 物 五十八 物 五十九 物 六十 物 六十一 物 六十二

物 六十三 物 六十四 物 六十五 物 六十六 物 六十七 物 六十八 物 六十九 物 七十

物 七十一 物 七十二 物 七十三 物 七十四 物 七十五 物 七十六 物 七十七 物 七十八

物 七十九 物 八十 物 八十一 物 八十二 物 八十三 物 八十四 物 八十五 物 八十六

物 八十七 物 八十八 物 八十九 物 九十 物 九十一 物 九十二 物 九十三 物 九十四

物 九十五 物 九十六 物 九十七 物 九十八 物 九十九 物 一百 物 一百一 物 一百二

物 一百三 物 一百四 物 一百五 物 一百六 物 一百七 物 一百八 物 一百九 物 一百十

物 一百一 物 一百二 物 一百三 物 一百四 物 一百五 物 一百六 物 一百七 物 一百八

てきものハ、
股をひく、
門跡、
偏の字、
も

ろこ二

世

瀬、
萩、
蕨、
蕨、
蕨

常會

名とらせ、
同、
同

実越、
実越、
実越

世、
世、
世

世、
世、
世

折檻、
折檻、
折檻

膳、
膳、
膳

隠、
隠、
隠

仙人、
仙人、
仙人

千石字、
千石字、
千石字

殺生、
殺生、
殺生

以下

以下

せめて ニヒキ 焼 セウ 火 カ 又 尺 せき セキ 一尺のつらみん 面 オモ

先 ニ 前 サキ 又ニヒキ 成 セイ 敗 バイ あつとやあるはゆる人

聖 セイ 代 ダイ ひちり一聖地 梅 メイ 槽 サウ 一わらう

仙 セン 洞 ドウ とて 帝 テイ 季 キ 侯 コウ 人揚

泊 トク 戸 コ 一水戸の 射 セ 一セウ せん 一せん じ 一じ

宣 セン 下 ゲ 一院宣 改 カイ 道 ドウ 一まう 禅 ゼン 一天子

折 セ 言 ゴン 氏 シ 巾 キン 願寺 善 ゼン 一せん せ 一せ び 一び せ 一せ び 一び せ 一せ び 一び

辨 ベン 極 キョク 大辨 削 セウ 扎 シャ 一さ せ 一せ ぎ 一ぎ 燧 セウ 七 シチ

す ス 一す 鈴 スズ 虫 ムシ 一秋 涼 スズ き 一涼

栖 シ 二位 栖 シ 二栖 住 ジ 居 イ 二居

ぼ ボ と ト ぼ ボ 二ぼ 捨 スツ 二捨

せ セ せ セ せ セ 二せ 捨 スツ 二捨

せ セ せ セ せ セ 二せ 捨 スツ 二捨

せ セ せ セ せ セ 二せ 捨 スツ 二捨

あはれ

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

○ 倭名遣大統

一 申乃えと書事 申と申すこと申すこと

越 こゝろ 消 きり 岡 かみ 於 お 付 つ

笑 わら 燃 も 肥 こ 金 かね いはれ申す

一 不と執らるるをかるハ 其字はととをわくまゝにはるるを執らるる

あ不 埴 は いり 庵 い か不 教 か らる 子 田 で

一 駕乃と書事 小の字のまゝに書す

とが とが 舟 ふね を下 くだ ま 為 な とが とが 小川 こがわ をく く 山 やま 悉 しつ

を を 山 やま 小 こ 橋 はし との との 小野 この と と 小 こ 袖 そで 小 こ 車 くるま

[Marginal notes on the left side of the page]

一物乃茲の字のつぎも常のと成り

五乃と 茲乃と 其乃と 其乃の人を

一と交をいづも常乃をこ

をいづこ たりんる とまると ねんれと

一物乃をいづも常のをえ

とらんを 後のとと 凡れとと とらん川 とらん川

ありれ皆とと いづも奥にわるといづらん

一とのま どのづらと どのがらんく いづらんもわらんか

一とらん一とらん女にわるといづらん常のをこ

一とらん常ののをいづると奥にわと

一奥乃れ書事 大の字のつぎもわくのちあ

わらんを 大をいづらと 大を わらんを 大を わらんを ちあ

わらんを 大を わらんを 大を

一尾の字のつぎも奥にわるとい

をいづらん いづらんを

一御乃字のつぎも奥にわるとい

かりま かりま かりま かりま

一常の人と書事 いづらんを

いづらんを いづらんを

一 與好おと下の書事

いゝ 吉 寸 志 末 中 志 覽 いゝ 家

うゑん大壘 多見大壘 うひやん志壘 志壘志大壘

大壘くの志かく事おまこおましきさうや

一 壘乃いせ下の書事 此壘のいせ下にかく

かい乃おさめ ひんく らんまの たいゝん おんくさく

一 巾乃おを書事

うゑ なるお くの井 うおんあり おおえん

はわい 志のて まくお まらぬて ちおま

よお きぬる くの井 おおまらう 此おまらう

一 うお字下に書事 下おのきぬまはよおれらううお字

そく 俵 びくー 俵 せうかう 焼香 おうごう 女房

こゝたう 同通 せりく 中い とうたう 堂塔 こうきう 真隆

まうけ 借 せりし 掛幣

右おまらうおまらうと下とうと後の大男うお字か下訓は後

時かうとくお字かおれ字とうと後あるくーはめて後字の

うおの志のいゝおまらう

一 おお字かおまらうおまらう 口よりして後字かおれおまらう

むも木 じまねまて じまねまて じまねまて

むめ じま うらんれむまて

一 じまねまて じまねまて 蘭をらう 難波をみん

形波をなま 芝蔴をまてふまのね

一 じまねまて じまねまて 一 地たまらんだんまて

右にみかれらまらまら 假名打が一字ありつらまらまら
はらららの中乃お真乃ひやまらまら
半もゆらありまらまら考へし唯假名遣れ半一隅
已所余の唯まらまら

漢和式

一 第唱句之事

第唱^{キウ}句と云ふ事乃事之也来乃何を内乃事^シ字
を除きて脇の白れ韻字を定まらたるとん

必^キ有^レ鄰花見

此乃鄰の字ハ去^キ諄^シ隣乃韻の字ナリ花の
字ハ麻乃教ハ来字アリハ二ハ乃来字を除きて
何れハ韻也ても脇乃白れ韻字を定むる但一
白^クハハ韻字といふも何れも也唯借字ナリ

あめて其かまひか

二四不同之事

●●○● 毎句二と四とを不同にさす

●●_仄○_平●_平 毎句二字め仄字をれん四字め平字にさす也

● 是ハ平字めても仄字めても兩韻あるも

● 平字かづらふ

●●○● 毎句二と四とを不同にさす

●●○● 毎句二字めと四字めを同にさす

●●○● 毎句二字めと四字めを同にさす

三四字一平之事

上乃句 ●●●● 是三四不同なれども四字仄字に

下乃句 ○○○○ 是又四字平字に

但一 逸乃句又ハ古語古なりとよく用ひ

る乃句なりと百韻あり一所の免さるあり

下三連事

上乃句 ○●●● 是三四不同なれども仄字三字に

下乃句 ●○○○ 是も下平字三字に

平仄起之事

二字めを起とす

漢和

上乃句 ○ 平記 ○ ○ ● ● 是平起あり此對句ハ仄

ツイ ○ 仄記 ● ● ○ ○ 韻字 起りもあへみは次よ上乃句

上乃句 ○ 仄記 ● ● ○ ○ ● 付多附ハ句ハ仄起りもあへ

ツイ ○ 平記 ● ● ○ ○ 又此對句ハ平起りもあへ

卷角上乃句と下乃句あり附ハ起を遠へては下れ

句と上乃句並ぶ付ハ句ハ起りもあへ

⑥ 漢和一 産法式之事

面ハ句乃内漢四句和四句也 面の内對一

あり一 面漢乃内漢四句和四句也 面の内對一

漢和乃附ハ面のハ句め和あり 和漢乃附ハハ句め

漢あり 漢あり 漢あり

面ハ句乃内漢三句乃句可禁 集韻のり 但一

第唱句ハ各別乃る也

百句乃内漢五十句和五十句之附ハ句ハ漢あり

も和ありも二三句れまありハ句ハ句ハ句ハ句

花雪平乃内漢二句和の方二句

月和漢も二三句并句は並りも並りも並りも

雪五 漢ありも和ありも五ありも並りも並りも

候^{カ+}急書ハ一在^一と^一と^一と^一

漢和乃^ハ其^{ホツ}揚^ミり^ハ中^ハ々^々第^一唱^ハ句^ハ内^ハの平字

乃^ハ韻^ヲを^レ除^キて^ハ外^ハ乃^ハ韻^ヲ中^ハハ^レ助^ハ乃^ハ句^ハ内^ハ韻^ヲ字^ヲ然^レ之^ク

子^ハ

和^ハ漢^ハ之^ハ和^ハ乃^ハ句^ハハ^レ韻^ヲ字^ヲと^レぬ^キず^ハ是^ハと^レ和^ハ其^ハ食^ハ其^ハ

内^ハ乃^ハ重^ハ字^ヲと^レ除^キて^ハ助^ハ乃^ハ句^ハ内^ハ韻^ヲ字^ヲと^レ字^ハ内^ハ之^ハ和^ハ

乃^ハ方^ハハ^レ韻^ヲ字^ヲと^レ除^キて^ハゆ^キ也

辭^ハ韻^ハハ^レ韻^ヲ字^ヲ佛^ハ常^ハハ^レ佛^ハ語^ハ下^ハ乃^ハ句^ハ毎^ハハ^レ韻^ヲ字^ヲと^レと^レ

ゆ^キ之^ハ和^ハ是^ハと^レ和^ハ乃^ハ内^ハハ^レ平^ハ字^ヲと^レ除^キて^ハ助^ハ乃^ハ助^ハと

之^ハ多^ハ之^ハ所^ハ別^ハ後^ハ也^ハ

⑦ 對句之次第

凡^ハ十二^ハ門^ハ乃^ハ内^ハ乾^ハ坤^ハと^レ時^ハ候^ハと^レ對^ハ也^ハ 怒^ハ賊^ハ之^ハ食^ハ服^ハ

と^レ對^ハ用^ハハ^レ態^ハ藝^ハと^レ盡^ハ押^ハも^ハ一^ハハ^レ用^ハゆ^キ

但^ハ態^ハ藝^ハ乃^ハ中^ハハ^レ輕^ハく^ハ一^ハハ^レ盡^ハ押^ハも^ハ一^ハハ^レ用^ハゆ^キ

又^ハ盡^ハ押^ハ乃^ハ中^ハハ^レ強^ハく^ハ一^ハハ^レ態^ハ藝^ハ乃^ハ中^ハハ^レ用^ハゆ^キ

之^ハ和^ハと^レ合^ハて^ハ對^ハと^レ也^ハ

人^ハ倫^ハハ^レ字^ハハ^レ氣^ハ形^ハ乃^ハ中^ハハ^レ有^ハと^レ人^ハと^レ別^ハ也^ハ 擇^ハ出^ハ

用^ハゆ^キ也^ハ 一^ハ虫^ハ魚^ハ鳥^ハ獸^ハ等^ハ乃^ハ生^ハ類^ハと^レ人^ハ倫^ハと^レを^レ對^ハと^レ

對りきりく次

合掌對として悪きものは是の兩乃手と合あるやりに

付るあるを嫌なりたるとん天_二地有_二寒_二暖_二長_二

短大_二小善_二悪めひ乃れなり

或人曰合掌對といふやん人物ぞ其作意と云

むをて曰たとので夏草唱句子

蕉 蟬 朱 菘 汁

是より合掌對として

増 蜻 音 蓼 饅

唱句は蓋の論語陽貨乃篇より惡_二紫之_二蕉

彩也との緒よとがかりて作是り浴よ朱

蟬とひいて切は乃赤きゆり菘乃之とて

紫をとりてせとの對乃句の蜻を蓼鮫とい

たり蓼よりして饅あ人よてうの善さをま

しあるははる屋の魚は魚は魚は字

とる字食類と食類は乃梅を合する

うぶとく射志とるそ又け唱句よ合掌對よ

あしざり對あしとん

其書

曼草籠

此乃魚子虫朱と免汁の食物籠ハ是然也
加種ノ有シタ之ハ句傍ニあるハ其ノ旨ナル也
同ノよシテ作所ノ五字ハ尚ニ字ハ其ノ旨ナル
トモモ一ハ此法トヨキヲ奉ルベシトモモ
其ノ一ハ此ノ如クハ合掌對トシテ難シクハ
ハ假名書之事
中華ニ張九成日本乃いろハを書史會要ニ載
スリ故ニ住古ヨリ用ヒ奉ルリ對句ハ其ノ旨

たといハ月とつき山をやは色とつろそかくおろり
あるゆへかのごとく一ハ或ハ能登ノ用ヒゾリヤ一
無
有テナリヨリ一ハ假名がまの文字ハたぐい記を

一 堂 白壁 櫛

三 みる と 茂 助

テ ン 宗 因

一 堂 乃 白壁 櫛 小 杉 木 乃 巡 礼 記 乃 卷 第 一
とらう作るゆえに 一ハ假名書ニ對スルニ
俳諧の一體あり

九連綿字之事

連綿字ハ冠リ篇リ作り下ニ凡ト書き下リ譬々

乾坤

宇宙

麤麤

氣形

坻塹

囹圄

勝隴

麒麟

鳳凰

蛤蜊

鴛鴦

猿猴

支躰

肺脾

鬢髮

觸體

肝膽

眼膜

態藝

齟齬

婀娜

蹀躞

慇懃

徘徊

生植

梧桐

芙蓉

枇杷

菖蒲

蒲萄

食服

柈菓

兩襠

袈裟

醴酪

饍饌

器財

琴瑟

舳舻

幣帛

柄鉢

蓮條

右連綿字ハ連綿字

大既本をよみその

十二物之事

是ハ別るも物とニツトセテ連續するものアリ譬ハ

乾坤

星霜

雨露

山林

陰陽

春秋

氣形

龜鶴

犬鷄

龍虎

狐狸

燕鶯

友疎

客顔

頭頂

肩目

心肝

手足

態藝

生還

狗牙

邪正

縦横

得失

生植

松菊

蘭蕙

榛栗

桃李

梅竹

食服

酒茶

浚羅

酒肉

錦繡

肴棧

器紋

金銀

甲冑

弓矢

力杖

筆硯

この外何程も多し一爰おハ大畧を載ス

十三物之事

刀

藥

貪トシ 饗シ 癡チ

儒ニ 耕カ 道ダウ

過ク 現ケン 來ライ

身シ 口ク 意イ

天テン 地チ 人ジン

智チ 仁ニ 勇ユウ

名ナ 之シ 終シュウ 之シ 終シュウ 之シ 終シュウ

①底ソコ 返カエ 之シ のノ 事コト

底ソコ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

心シン 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

稽ケイ 古コ

勤キン 學ガク

滿マン 池チ

納ナツ 涼リョウ

無ム 心シン

省シヨウ 經キョウ

心シン 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

字ジ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

又マタ 唱ネウ 句ク 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

可カ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

⑬ 朱シュ 子シ 之シ 事コト

朱シュ 子シ 之シ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト 返カエ 之シ のノ 事コト

とらむるはて虚押也音子用家以生
植子なる哉秀 蕪乃字れ類も同ふ 固音子
用をさうらひ乃らうて乾坤也かり困 寂
幽乃字もあかり 詩乃字詩を作家もあかり
字かり 詩文詩書乃らう用いてふ家成りもあかり
文書章乃字も同意之 桐世字きりともみつてと
生植なりあかりよみていゝ意成り 梧の字も
同ふ 琴乃かり之類此類乃字たゝ哉と

乾坤と氣形と通用乃字

日月星虹霓雷

乾坤と氣賊通用乃字

軒扉門戸梯 瓦甍椽碑牀石
炭楯棚

乾坤と支幹と通用の字

趾牙氣夢角

乾坤と支幹通用の字

日月星電露煙煤

乾坤と態藝と通用乃字

乾坤

夢中封居處 虛空渡泥堆 載
代遠近上下 內外前後表裏

乾坤之生植之通用

林苑森節

氣形之態藝之通用

雄魚樵牧

氣形之支幹之通用

羽翼鱗翰角毛

氣形之光彩之通用

日月星 鳥黑心 兔鼻心 鷲目上 螢

氣形之聚財之通用

貝蠙鷁

氣形之人倫之通用

雄漁鯨獨孤

人倫之態藝之通用

賢愚樵漁盜賊徒 將衰老若

自佗雄勇侶

支幹之態藝之通用

聾 野情 智 瘡 病 盲 瘖

生植と糸財と通用

架 茶 茗 香 瓢 藥 柴 薪

生植と光彩と通用

紅 翠 綠 紫

糸財と態藝と通用

權 綠 朽 飾 詩 文 章 歌 司カク

糸財と光彩とかのり字

丹 朱 金 銀 墨 玉 碧 粉 錦 黛 畫

白 薄 泥

光彩と態藝兼ふ字

清 淡 濃 濁 條 然 薄 泥

數量と態藝と通用

重 皆 分 長 短 多 少 細 同 諸 教

幾 雙

去如乃文字於字一是对句之序より多時可用

(五) 促名書乃文字也

月と都囀又悉計 雲と朽罔 風と加前 雨と下糸

五

漢書

梅花曆

山中に隠居しては四月の時もあらず
梅衣乃爾をこころを暦まなす

春已抄

春一麦

○夏

靑和 四月乃夏をるるも
五月乃の未を其まを

迎梅雨 四月の

新緑 五月の

緑迎夏

五月乃の

梅天

五月乃

花富貴

五月乃

十三紅

五月乃の

緑勝花

五月乃

山如滴

蕉書出

五月乃

荷致半蓋

五月乃

霖

五月乃

梅頰同

五月乃

紫線縷

五月乃

暑炎熱

五月乃

驅暑

五月乃

早霖

五月乃

炎塵

五月乃

涼書

五月乃

暑如醉

五月乃

火埃張

五月乃

暑埃塵

五月乃

中雲合

風解愠

五月乃

秋迫期

五月乃

秋

五月乃

初涼

五月乃

招翻葉

推殘暑

五月乃

黃雀風

五月乃

栝雨

初涼

五月乃

金氣

五月乃

栝雨

推殘暑

五月乃

黃雀風

五月乃

栝雨

金雨

秋の雨

葉語

秋風のうらみと
人の語のうらみと

桐涼

梧相乃すく
きれのうらみ

素景

秋の素景をりて
秋の白の素景

疎柳

秋風のりまれば
柳葉乃かきと云

楓錦

ゆきとの
ゆきとの

紅樹

同上

黄落雨

木乃をれし雨
音のるる

山石瘦

草木乃枯る
山乃

雁雲

雁の雲

寒砧

うらみのうらみ
うらみのうらみ

冷

秋あり

○冬

柑

凍蝶

凍鶴

燒葉

弓

弓

弓

呵筆

筆の呵

凍雲

敲凍硯

敲

敲

敲

短景

短景

歎炭

釣雷

敲雪

敲

敲

探

探

春信

歳暮

歳暮

歳暮

歳暮

宇

宇

宇

宇

宇

宇

宇

雲龍友

雲龍友

雲龍友

雲龍友

雲龍友

雲龍友

雲龍友

詩肺

詩肺

詩肺

詩肺

詩肺

詩肺

詩肺

雲似蓋

雲似蓋

雲似蓋

雲似蓋

雲似蓋

雲似蓋

雲似蓋

○雜

雲龍友

雲龍友

雲龍友

雲龍友

雲龍友

雲龍友

雲龍友

詩肺

詩肺

詩肺

詩肺

詩肺

詩肺

詩肺

雲似蓋

雲似蓋

雲似蓋

雲似蓋

雲似蓋

雲似蓋

雲似蓋

紅旭 あけぼの 紅友 あかとも 紅女 あかめ 物を感生を云紅乃字ハ本篇ヨ
あり

山月 やまづき 山是日 やまはひ 古よりあつてからぬおん
山はあつてからぬおん

釣深 つりふか 黒甜夢 くろあまゆめ 蛸室 たこむら 蛸室 たこむら 蛸室 たこむら
書をうらまえてつりふか

舞如雪 まいにゆき 湖似鏡 うみにがたかみ 水海の面照て
人のよう舞より雪

歌款乃 うたかたの 舟舟 ふねふね 一葉舟 ひとかたふね 舟舟 ふねふね
舟舟 ふねふね 舟舟 ふねふね 舟舟 ふねふね

錦字 にしんじ 御溝葉 ごみぞは 私語 しりごと 錦字 にしんじ
錦字 にしんじ 錦字 にしんじ 錦字 にしんじ 錦字 にしんじ

御姫怨 みひめうらみ 浮跡 うきあと 幽所 ゆうじょ 幽所 ゆうじょ 幽所 ゆうじょ
秋の扇なぐりて

禪定 ぜんじやう 錫 しやく 右之類 みぎのたぐひ 他准 たじゆん 大尾 おほびし
錫 しやく 錫 しやく 錫 しやく 錫 しやく 錫 しやく

跋

溝口行亭とよむ人筆まことに云ありめきあま
清書とてとてまじとらり名よめらてり
かへかふるよまは傳乃授さあひれ数量手お
於紫乃志あくしつり口傳れりまき今若
能風けりよあそりてあかた志るし志る也
何くそに私とてり人きとてりあかた志る

和乃乃... 此一帖... 一...

露吹房

和及



元禄十年丁丑孟春穀旦

新井彌共衛

改板をすまじ之改

誑或之祖... 良保孫... 和及竹亭... 龜林... 又因... 西度... 是て...

交

交

字彙節用悉皆蔵 全

此集ハ四職の人ノ肝要の文字を採りて撰
集シテ三ノ字を以テ入ルニ其の例は
ありて其の重宝の事をもとめてあり

新選早字引 小本 全

けりしにハせふあつたてまつて二
の書にてハ名をてん字すのよしと
なり

新明曆雜書天文卷 全

けり世相大々み入る代の吉凶月日
の善悪其外はあらず一切吉凶の書ハ
ありて又なり

山川名跡志 小本 全

山城名勝志 四ノ我 箱入 全

都名所圖會 秋葉雜書 全 六

拾遺都名所圖會 全 五

此書ハ京都 林業の御あつた洛
洛外名所古蹟社仏宮山水花月賢哲の
宅舎ふりてありて其の因小なり
と撰り名家のはかきと奉りて京師の名
所とありてハ書ふにハハ

花洛細見圖 折本 全 五

都寺社全圖 日 全 四

繪本都のありあり 全 二

同 京名所記 全

祇園清水名所 全

寺社物結 全 六

京獨案内引州 小本 全

繪本倭比事 兩卷 全 十

山水畫典 全 三

畫圖黒手 全 三

麁筆画譜 全 三

丹青錦囊 全 六

諺訓蒙図會 中村三近子 橋守國馬 全 十

都名所車 袁中 全

都細見圖 折本 全

親書大 王四輩順拜圖會 五

御旧跡 同 後編 五

此書ハ大北寺年の事ハ圖を遍歴
たりハ其の事ハ御旧跡の縁起なり
此書ハ其の事ハ御旧跡の縁起なり
のたつた事ハ其の事ハ御旧跡の縁起なり
ハりてハ其の事ハ御旧跡の縁起なり

北江孫系傳記 小本 全

日 以孫記 日 全

日 繪 書 折本 全

日 石中記 全

源平盛衰記 <small>會</small>	六	沈借 <small>り</small> 卷大成	
誹諧 <small>わらわ</small> 卷	升亭二	日 郭 <small>ん</small> 大成	
日一於遺	丈石全	日 きく 孟	
日 曉山集		狂飲 <small>け</small> 時 <small>し</small> 危	
心學書目	即代の虫	一 梅育 <small>し</small> 州	二
賣 <small>り</small> 先生糠 <small>ば</small> 俵	素子 <small>く</small> く	二 身体 <small>しん</small> 柱 <small>ち</small> 立	二
同 後編	民の <small>あ</small> 昌	一 孝 <small>けい</small> 經 <small>けい</small> 童 <small>どう</small> 子 <small>し</small> 訓	一
同 續編	鬼ハ外	全 <small>ん</small> の <small>り</small> か <small>の</small> 後 <small>ご</small>	二
同 安 <small>ん</small> 信 <small>しん</small> 受	子 <small>り</small> り <small>り</small> 弄	全 <small>ん</small> の <small>り</small> か <small>の</small> 後 <small>ご</small> か <small>の</small> り <small>の</small> か <small>の</small> 後 <small>ご</small> か <small>の</small> り <small>の</small> か <small>の</small> 後 <small>ご</small>	二
か <small>か</small> め <small>め</small> く <small>く</small>	夜話 <small>や</small> 莊 <small>しやう</small> 子	兵運 <small>へい</small> 出 <small>しゅつ</small> 世 <small>せ</small> の <small>し</small> 後 <small>ご</small>	二
く <small>く</small> り <small>り</small> け <small>け</small> け <small>け</small> る	吐 <small>つ</small> 乃 <small>の</small> と <small>と</small> 心	家内 <small>けい</small> 安 <small>あん</small> 合 <small>がっ</small> の <small>し</small> 後 <small>ご</small>	二
み <small>み</small> く <small>く</small> の <small>の</small> ふ <small>ふ</small> つ <small>つ</small> ら	二夫 <small>ふ</small> の <small>の</small> を <small>を</small> る	ま <small>ま</small> の <small>の</small> あ <small>あ</small> と <small>と</small> ア	二
松 <small>しょう</small> お <small>お</small> い <small>い</small> ら <small>ら</small> 言	安樂 <small>あん</small> 問 <small>もん</small> 道		

信州上田
上葛屋
川原ギ丁

